



2017年8月1日

共栄火災 「新橋こいち祭」で地域貢献・社会貢献

港区の障がい者施設で作成した商品を販売
共栄火災のキャラクター「サイ吉」も登場して販売支援

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-6、社長：助川 龍二）は、地域貢献・社会貢献活動の一環として、7月27日（木）、28日（金）に開催された東京港区の新橋地区商店会が主催する「第22回新橋こいち祭」に協賛・出店しました。

「新橋こいち祭」は、新橋地区の有志がボランティアで新橋地区の活性化を目指してはじめたお祭りで、今年で22回目となります。新橋に本社を構える企業としての地元への地域貢献と、損害保険会社としての社会貢献を行うことに賛同した社内の有志が集まり、業務の合間を縫って出店の準備から販売までを行いました。

当社は港区の障がい者施設のNPO法人「風の子会」が製作したビーズの小物類、メモ帳・メッセージカードなどの紙製品や、NPO法人「工房ラピール」が製作した焼き菓子や“さをり織り”、港区立障害保健福祉センター「みなとワークアクティ」が製作した焼き菓子などを販売しました。

どれも障がい者の方々が一生懸命作ったものとの意識から、酷暑にもかかわらず販売する社員にも熱が入り、また当社のキャラクター「サイ吉」も登場し大いに会場を盛り上げたこともあり、2日間で全ての商品を完売しました。今回参加した社内の有志メンバーからは「新橋こいち祭だけではなく、港区で実施している清掃活動などにも積極的に参加し、地域とのつながりをますます深めていきたい」という声もありました。なお、売上金146,950円は、交通遺児育英会に全額寄付することとしています。

当社では、今回の社会貢献活動のほかにも、バレンタインデーの義理チョコとホワイトデーのお返しを、もっと有意義な目的に使えないかと女性社員有志が発起し、1993年から20年以上にわたり「義理チョコ・あげたつもり・もらったつもり」バレンタイン・チャリティ募金」を実施しています。

また、各家庭で不用になった衣料品や余っている家庭常備薬、おもちゃ、文房具、裁縫用具などを集め、マリ共和国（西アフリカ）の難民キャンプへ贈る「クリスマス・チャリティ」を、同じく1993年から実施しています。

当社では、今後もこのような社会貢献につながる各種活動を積極的に実施していきます。

<社員有志による販売風景>



<「サイ吉」も登場>

